



### 一葉の肖像画が描かれた五千円札

女性の社会進出を象徴する人物として、一葉は2002年4月に新五千円札の肖像画に採用された。貨幣博物館に収められた1枚目に続く、2枚目の貴重な紙幣が展示されている。



### 一葉記念碑

記念館の隣の一葉記念公園内にある記念碑。一葉は数カ月だけ記念館の2つ向こうの茶屋町通りに居を構え、この地で「たけくらべ」の素材を得た。



### 愛用の紅入れ

薩摩焼の絵付け師だった兄の虎之助(奇山)が作った薩摩七宝の紅入れ。女性らしいものはあまり残っていない一葉の貴重な愛用の品。

### 台東区立一葉記念館

- 所在地／台東区竜泉3-18-4
  - 電話番号／03-3873-0004
  - 最寄駅／東京メトロ日比谷線「三ノ輪駅」より徒歩10分、つくばエクスプレス「浅草駅」より徒歩15分
  - 開館時間／午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
  - 休館日／毎週月曜日(祝休日と重なる場合は翌平日)、年末年始および特別整理期間中
  - 入館料／大人300円(20名以上の団体200円)、小中高生100円(20名以上の団体50円)
- ※障害者手帳をお持ちの方とその介助者の方、特定疾患医療受給者証をお持ちの方とその介助者の方は無料。毎週土曜日は台東区在住・在学の小、中学生とその引率者の入館料が無料です。



一葉の小説でもっとも長い「たけくらべ」の未定稿。達筆で知られる一葉だが、この下書き原稿には苦悩のあとが見て取れる。一説によると源氏物語の世界を竜泉に持ってきたのが「たけくらべ」であるとも。

33円20銭(現在の約40万円)を得たということを耳にし、すでに戸主として奮闘していた一葉は小説家を志すようになったのです。そして半井桃水が主宰していた同人雑誌『武蔵野』に処女作「闇櫻」を発表。こうして順調に小説家への道を歩み始めたかのように見えた一葉ですが、21歳のときに現在記念館がある吉原遊郭近くの下谷龍泉寺町に移り住み、荒物駄菓子店を始めます。わずか10カ月で店はたたみましたが、山手育ちだった一葉はこの地でカルチャーショックを受け、人間観察を通じて

て多くの小説のヒントを得ました。なかでも名作「たけくらべ」は、龍泉寺町での経験がなければ生まれないものではなかったとも言われるほどで、以降亡くなるまでの14カ月の間に「大つごもり」「たけくらべ」「にぎりえ」「十三夜」といった後世に残る作品を次々と発表したのです。

短命でありながら、亡くなる年に代表作「たけくらべ」を完成させ、森鷗外をも唸らせた一葉。男尊女卑であった当時の封建社会のなかで、女性が社会に進出するきっかけを作り、女性としては



一葉が愛用していた黄八丈の桐着。豪華な晴れ着の門人たちが集うなか、貧しい一葉は初めての発表会で着丈の合わない着物姿だったが、作品「月前柳」で最高点を取り古着の引け目をはねのけた。

神功皇后以来2人目の日本紙幣の顔となったことが、彼女の功績を物語っています。ここへ来ると、一葉が懸命に生きた24年という歳月に想いを馳せずにはいられません。



瀧澤康裕画「仕入帰りの一葉」。龍泉寺町で商売を営んでいたとき一葉は仕入れを担当。館内には仕入れ帳も展示されている。

肺結核によってわずか24歳と6カ月という短い生涯を終えながら、「たけくらべ」をはじめとした多くの作品を送り出した小説家の樋口一葉。彼女の記念館が、台東区竜泉の閑静な住宅街にあるのをご存じでしょうか。格子塀が特徴的な建物は、モダンでどこか和を感じさせるしつらえ。記念館内部は



「一葉は、いまで言う都庁の職員だった父・

### たけくらべと縁深い竜泉の地

3つの展示室とギャラリー、ライブラリーから成り、直筆原稿や書類などの貴重な資料が展示されています。記念館と一葉の生涯に

ついて、専門員の近藤さんと共にご案内しましょう。

### 一葉が生きた証を知る展示物

一葉は萩の舎でさまざまな文学の素養を身につけ、それと同時に売文業で身を立てようと決心します。同じ萩の舎で学ぶ名家の令嬢・三宅花圃が、小説を書いて原稿料

# シニアライフ・コンシェルジュが案内する 都内の名処



我が国初の女性作家の生涯を知る

## CHAPTER 8 一葉記念館

東京に観光名所は数あれど、あまり知られていない穴場スポットは数多く存在します。そんな「都内の名処」を、シニアライフ・コンシェルジュ藤野政史がご案内します。今月は、明治の時代を生きた女流作家・樋口一葉の業績を称える「台東区立一葉記念館」に出掛けてみましょう。



ふじの まさふみ  
藤野政史

グローバルライフ株式会社  
代表取締役  
シニアライフ・コンシェルジュ  
シニア世代の皆さまが楽しく、笑顔で、遊び、学ぶ、集う会「グローバルライフクラブ」を運営。

「都内の名処」を募集中!

グローバルライフクラブ 検索  
0120-70-0202